

大阪府立大学 科目ナンバリングについて

1. 科目ナンバリングとは

科目ナンバリングは、教育課程の体系性を示すために、科目に記号と番号を組みあわせて付与することによって、科目の学問分野、カリキュラム内での位置づけを示す仕組みです。科目の属性（レベル、開設部局、学問分野）に応じて、大阪府立大学の各科目に対応して一つのコードがつくこととなります。

2. 導入の目的・必要性

授業科目に番号及び記号を付し、学問分野、レベル、形態、位置づけ、順序性を明確にすることで、学士課程・大学院課程全体の中での科目の位置づけを把握できるようになり、履修計画上でどの科目から履修すべきかの目安となることが期待されます。

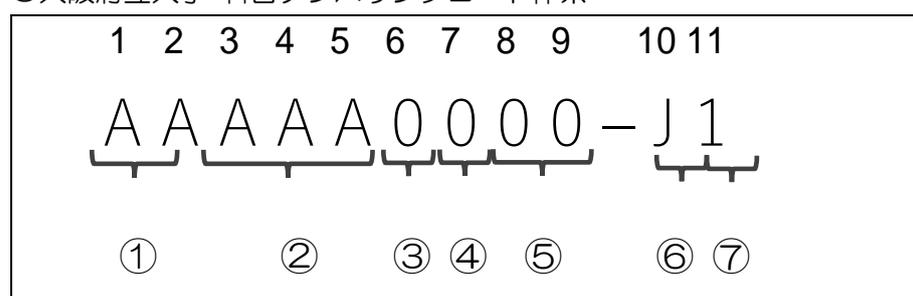
また、単位取得してきた科目のコードを見ることで、自身がこれまでどの学問分野を履修し、その科目がどのレベルのものであるか等の学修状況が分かるようになることが期待されます。

さらには、科目ナンバリングはアメリカのほとんどの大学で導入されており、海外の大学への留学が容易になることも期待されます。

3. コード体系

本学の科目ナンバリングは下記のとおりコード体系なっています。

○大阪府立大学 科目ナンバリングコード体系



① 部局コード（1・2桁目）[AA～ZZ]

科目の開設部局（機構・学域・研究科など）を示します。各部局コードは以下の表のとおりです。

○学域学類・機構

学域学類・機構	部局コード
現代システム科学域	AS
現代システム科学域 知識情報システム学類	AK
現代システム科学域 環境システム学類	AE
現代システム科学域 マネジメント学類	AM
工学域	BT
工学域 電気電子系学類	BE
工学域 物質化学系学類	BC
工学域 機械系学類	BM
生命環境科学域	CL
生命環境科学域 獣医学類	CV
生命環境科学域 応用生命科学類	CA
生命環境科学域 緑地環境科学類	CE
生命環境科学域 理学類	CS
地域保健学域	DH
地域保健学域 看護学類	DN
地域保健学域 総合リハビリテーション学類	DR
地域保健学域 教育福祉学類	DW
高等教育推進機構	FL

○研究科・専攻及び機構（大学院共通）

研究科・専攻	部局コード
工学研究科	TG
工学研究科 機械系専攻	TM
工学研究科 航空宇宙海洋系専攻	TA
工学研究科 電子・数物系専攻	TP
工学研究科 電気・情報系専攻	TI
工学研究科 物質・化学系専攻	TS
工学研究科 量子放射線系専攻	TQ
生命環境科学研究科	LG
生命環境科学研究科 応用生命科学専攻	LA
生命環境科学研究科 緑地環境科学専攻	LE
生命環境科学研究科 獣医学専攻	LV
理学系研究科	SG
理学系研究科 数理科学専攻	SM
理学系研究科 物理科学専攻	SP

研究科・専攻	部局コード
理学系研究科 分子科学専攻	SC
理学系研究科 生物科学専攻	SB
経済学研究科	EG
経済学研究科 経済学専攻	EE
経済学研究科 経営学専攻	EB
人間社会システム科学研究科	HG
人間社会システム科学研究科 現代システム科学専攻	HS
人間社会システム科学研究科 人間社会学専攻	HH
看護学研究科	NG
看護学研究科 看護学専攻	NN
総合リハビリテーション学研究科	RG
総合リハビリテーション学研究科 総合リハビリテーション学専攻	RR
高等教育推進機構（大学院共通）	FG
リーディングプログラムコース	PL

② 科目の学問分野（3～5桁目）[AAA～ZZZ]

科目の学問分野を示します。学問分野コードは別表1を参照ください。

③ レベルコード（6桁目）[1～7]

レベルコードは、当該科目の授業のレベルを示します。各レベルの説明は下記のとおりです。

○レベルコード

Lv.	対象とする科目分類
1	共通教育科目(語学上級、高年次対象を除く)、専門基礎科目
2	専門基礎科目、学域専門科目(基礎的な内容)、共通教育科目(語学上級、高年次対象)
3	学域専門科目(発展的な内容)
4	学域専門科目(卒業論文・卒業研究関連科目、獣医 5～6年次科目)
5	大学院(博士前期課程)専門科目(基礎的な内容)、同 大学院共通教育科目
6	大学院(博士前期課程)専門科目(発展的な内容、研究指導科目)
7	大学院(博士後期課程・獣医学博士課程)専門科目(研究指導科目を含む)、同 大学院共通教育科目
N	レベル分け等が困難な科目

※学年とレベルは一致するものではありません。

○科目分類ごとのマトリックス

Lv.	共通教育科目	専門基礎科目	学域 専門科目	大学院 共通教育科目	大学院 専門科目
1	○ (語学上級、高年 次対象を除く)	○ (導入的な内容)			
2	○ (語学上級、高 年次対象)	○ (段階的な内容)	○ (基礎的な内容)		
3			○ (発展的な内容)		
4			○ (卒研関連、獣医 5～6年次)		
5				○ 博士前期課程	博士前期課程 (基礎的な内容)
6					博士前期課程 (発展的な内容、 研究指導科目)
7				○ 博士後期課程 獣医学博士課程	博士後期課程・ 獣医学博士課程 (研究指導科目を含む)

④ 各学域学類・研究科専攻、機構における科目区分（7桁目）[1～9、A～Z]

各学域学類・研究科専攻、機構が提供する科目区分を示します。各学域学類・研究科専攻、機構の科目区分は別表2を参照ください。

⑤ 連番による採番（8～9桁目）[01～99]

各学域学類、研究科専攻で開講している授業科目について、④で付番した科目区分の中で重複しないよう番号が付番されています。

⑥ 講義使用言語（10桁目）[A～Z]

講義で使用されている言語を示します。

○講義使用言語コード

コード	講義使用言語
J	日本語
E	英語
D	ドイツ語
F	フランス語
C	中国語
K	朝鮮語
B	バイリンガル（学生に応じて日本語と英語の併用） ※演習科目及び卒業論文、卒業研究のみ
M	マルチコース（資料・教材・板書は英語を使用し、講義は日本語で行う場合）

⑦ 授業形態（11桁目）[1～4]

科目の授業形態を示します。

（コード例）

コード	授業形態
1	講義
2	演習
3	実験
4	実習
5	卒業論文、卒業研究